

ごみ減量の3カ条「3 R」

その1 繰り返し大事に使う 「リユース(Reuse)」

壊れてしまった家具や家電製品は、修理すればまだ使えるかもしれません。着られなくなった服は、友人や親戚で欲しいと思っている人がいるかもしれません。いらなくなったものはすぐに捨ててしまうのではなく、捨てる前に「誰か必要としているかな」「他の何かに使えないかな」などと考えてみましょう。



その2 ごみになるものを減らす 「リデュース(Reduce)」

ごみを増やさないためには、買い物をするときできるだけごみが出ないものを選ぶことも大切です。便利だからといって使い捨ての紙コップやホイルの皿、割り箸などをむやみに使うことはやめ、できるだけ詰め替えできる商品を選び、水筒やマイ箸、マイバッグなどを有効に活用しましょう。また、生ごみは、ほとんどが食べ物のかすや食べ残しです。生ごみを減らすためにも、残さず食べる習慣をつけましょう。



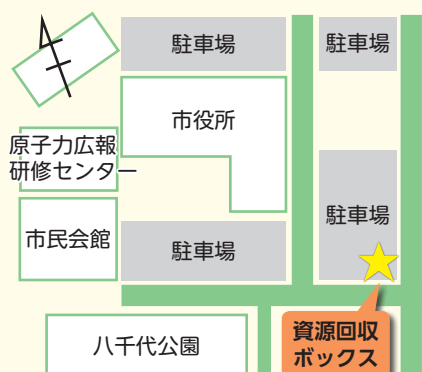
その3 混ぜればごみ、分ければ資源 「リサイクル(Recycle)」

ペットボトルや瓶、アルミ缶、スチール缶はリサイクル原料に、古紙や段ボール、紙袋などは再生紙やトイレットペーパーなどに生まれ変わります。家庭から出るごみの中には「資源」としてリサイクルできるものが数多く含まれているので、捨てる前にしっかりと分別しましょう。新聞紙や段ボール、雑誌・雑紙は、市役所や教育会館(御前崎支所)の駐車場に専用の資源回収ボックスを設置していますので、有効に活用してごみを減量しましょう。



資源回収ボックス設置場所

〈御前崎市役所〉



〈教育会館〉

